

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日  
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

# MSC TECHNICAL NEWS

No.M16C-03-9607

## M16C/60シリーズ シフト命令使用時の注意事項(2)

### 1. 対象品種

M16C/60シリーズ

### 2. 現象

シフト回数をレジスタで指定しメモリをシフトする命令を実行中に割り込みが発生した場合で、かつそのシフト回数が“0”(R1H=00<sub>16</sub>)であるとき、正しい割り込みルーチンに分岐しません。

#### (1) 対象となる命令

- ・ ROT.size R1H, dest
- ・ SHA.size R1H, dest
- ・ SHL.size R1H, dest

#### (2) 対象となる割り込み

NMI、監視タイマを除くすべての割り込み

ただし、ウェイトありの領域に割り込みベクタがある場合は、NMI、監視タイマを含むすべての割り込み

### 3. 対策

R1Hを確認し、その内容が00<sub>16</sub>の場合、シフト命令を実行しないようにしてください。

対策例

```
CMP.B #0, R1H
JZ     NEXT
SHL.B  R1H, -2[FB]
```

NEXT:

注. CMP命令で、O、S、Z、C各フラグは変化します。